

第18回米軍経ヶ岬通信所の設置に係る安全・安心対策連絡会の概要

- 開催日時 平成30年11月26日(月) 1330～1430
- 場 所 京丹後市役所峰山庁舎 2階会議室
- 出席者 【京都府】総務部副部長、丹後広域振興局企画総務部長(局長代理)
【京都府警察本部】警備部警備第一課課長補佐(警備第一課長代理)
【京丹後警察署】警備課長(京丹後警察署長代理)
【京丹後市】副市長
【地域住民代表】京丹後市区長連絡協議会会長兼島津連合区長
宇川連合区長会会長
京丹後市女性連絡協議会理事
丹後町袖志区長
丹後町尾和区長
【米軍経ヶ岬通信所】第14ミサイル防衛中隊副隊長(中隊長代理)
【航空自衛隊経ヶ岬分屯基地】第35警戒隊長
【近畿中部防衛局】企画部長、管理部長、京丹後現地連絡所長

○近畿中部防衛局からの説明

I 経ヶ岬通信所における状況等

- (1) 工事等の状況
- (2) 交通事故の状況等

II 住民の安全・安心

- (1) 交通安全に対する取組
- (2) 交通誘導及び巡回警備

III 日米交流及び地域振興策の状況

- (1) 日米交流等
- (2) まちづくりへの支援

IV その他

- (1) 経ヶ岬飛行制限区域における救急搬送の遅延事案
- (2) 近畿中部防衛局広報誌について

○米軍経ヶ岬通信所挨拶

- ・ 地域の代表者の皆様からの経ヶ岬通信所に対する多大なご支援に心から感謝申し上げます。
- ・ 経ヶ岬通信所は商用電力の導入を無事完了した。近畿中部防衛局と共に、工事が順調に進むよう、工事の進捗状況の情報を地元責任者の方にお伝えしていくよう取組んでいく。経ヶ岬通信所は常に地域の安全に重点を置いている。また、近畿中部防衛局、ドクターヘリそして地元の救急機関とともに、緊急事態の入域調整において、より良いコミュニケーションの構築に取り組んでいく。
- ・ 経ヶ岬通信所は島津小学校において4回目のハロウィンイベントを開催した。次のもう一つの大イベント、イースターを楽しみにしている。また、経ヶ岬分屯基地司令、福知山駐屯地司令との訓

練におけるパートナーシップでも飛躍的進歩を遂げている。消防訓練で支援をいただいている京丹後消防署及び交通安全講習会にご尽力いただいている京丹後警察署にも感謝申し上げます。

- ・ 経ヶ岬通信所の中隊長として基地で働く兵隊、請負会社及び日本人職員の安心・安全の確保にも責任を持っている。私の職員は地域に掲げられた“US Troops out now (米軍、今すぐに出ていけ)”という心ない表現の看板について懸念の声をあげている。様々な考えの方がいることは理解するが、さすがに安息の場所に掲示されると、司令官としてスタッフの士気に影響が出かねないと懸念している。基地内で働くスタッフや工事関係者、車両について撮影している方がいて、私の職員は基地内でのプライバシーについても懸念を持っている。
- ・ 経ヶ岬通信所は、全ての基地職員に対し、安全運転の強化に努めている。安全運転の重要性を呼びかけるため、私たちは経ヶ岬通信所チーム及び工事業者に対する安全運転の注意喚起を毎週継続して行っていく。
- ・ 皆様の地元地域にて奉仕していくこと、またこれらのパートナーシップそして永続する友好関係の構築を継続していくことを楽しみにしている。

○出席者の意見等の概要

(1) 台風時の支援への感謝

- ・ 袖志の集落では、今年10月1日に台風24号により大きな被害が出たが、その時に最初に支援の申し出をくれたのが米軍であり、住民も大変勇気づけられた。その感謝の気持ちをその場で十分に伝えられなかったため、この場を借りて区民を代表して御礼申し上げたい。また、先日行われた袖志の海岸清掃に、米軍・自衛隊が参加してくれたことについても感謝申し上げたい。

(地域住民代表)

(2) 商用電力の導入

【意見要旨】

- ・ 商用電力導入が実現し、騒音問題が解決できたという点については、地域住民も喜んでおり、尽力いただいた関係者に改めて感謝申し上げたい。

(京丹後市)

(3) 交通事故の状況等

【意見要旨】

- ・ 7月27日の事故に関しては、前回と同様、在日米陸軍に照会中とのことで、今回の資料にも交通事故の状況等に係る記載がないが、これは7月以降も事故がなかったという理解でよいのか。また、照会に対する回答はいつ頃得られるのか。

(地域住民代表)

- ・ 7月27日の交通事故に関して、本日に至るまで情報提供がなされないことについては、誠に遺憾であると言わざるを得ない。交通事故に係る情報の速やかな提供は、地域住民の安全・安心の確保、ひいては地域との信頼関係を醸成する観点からも非常に重要であると考えている。防衛局の責任において、早急に当該事故の詳細を把握して、関係者に情報提供されることを強く申し入れる。

(京都府)

【回答要旨】

- ・ 7月27日の事故については、先ほどもご説明したとおり、在日米陸軍に照会中なので資料には記載していない。今後、情報が得られた際には、関係自治体に提供させていただく。

(近畿中部防衛局)

(4) 交通安全対策

【意見要旨】

- ・ 宇川地区において車を運転する上で注意すべき危険な箇所を、小学校や駐在所とも協議の上、外から来られた方にもよくわかるよう写真入りのマップとして作成した。交通安全マップを更新して、米軍関係者に対する日常的な周知に努めていただきたい。(地域住民代表)
- ・ 雪道走行に際して注意すべき点を記載した書面を通信所にお届けしているのので、勤務する米軍関係者に周知いただき、交通事故のないように注意してほしい。(京丹後市)
- ・ 特に冬季の交通安全対策については、米側からも報告があったとおり、交通安全講習会の受講徹底を含めて、しっかりと対策をしてもらいたい。(京都府)

(5) 日米交流等

【意見要旨】

- ・ 国際交流協会で開催している日米交流事業も毎年好評をいただいている。ハロウィンイベントは、参加者も年々増えており、今年は150人が集まった。米軍関係者との英語でのコミュニケーションを楽しみに参加する子供も増えている。
また、9月29日には黒部で国際交流パーティーを開催した。演奏を披露した団体も、これまで外国人の方と交流する場がほとんどなかったということで、新しい交流のきっかけになったと大変好評であった。今後も協力をお願いしたい。(地域住民代表)

(6) 経ヶ岬飛行制限区域における救急搬送の遅延事案

【意見要旨】

- ・ 再発防止策の一つとして、飛行制限区域の影響を受けない場所へのヘリポート整備に向けて必要な予算の確保に努力するとあるが、これは宇川地域の住民の要望でもあるので、一日も早い実現に向けての支援をお願いしたい。(地域住民代表)
- ・ 飛行制限区域外へのヘリポート整備については、停波手続が必要ないという意味で抜本的な対策であると考えているので、近畿中部防衛局と京丹後市が連携して、できる限り早期に整備していただきたい。(京都府)

(7) その他

【意見要旨】

- ・ 7月から8月にかけて、米軍経ヶ岬通信所が攻撃されることを想定したシェルターや監視塔、防壁の施設整備が計画されているとの新聞報道があった。基地の警備強化も大変重要なこととは思

うが、周辺住民はこうした攻撃にさらされた場合、Jアラートによる自主避難のみという状況である。周辺住民の安全確保をどのように考えておられるかお聞きしたい。

また、穴文殊は国定公園に指定されており、自然と景観、住民の信仰の場の保全・保護のため、以前、トイレコンテナが設置された際には、地元から要請して撤去してもらった。防護壁やシェルターの設置は周辺の景観にも影響を与えると思うので、整備の計画があるのであれば、景観・環境・文化に十分配慮いただくとともに、事前の説明をお願いしたい。 (地域住民代表)

- ・ 新たな施設整備の状況について断片的に情報が入っている。地域の方も心配している。安全確保のために必要な情報については、事前にしっかり把握いただき、説明責任を果たしていただきたい。 (京丹後市)

【回答要旨】

- ・ お尋ねのシェルター等の配備については、防衛本省から在日米軍司令部に照会したところ、米側からは、いずれも施設区域内において通常実施する部隊防護措置であり、それ以上のものではないとの回答があった。

従前から説明申し上げているとおり、TPY-2レーダーの存在により、経ヶ岬が攻撃される可能性が高まるものとは考えられず、通信所を取り巻く情勢にも特別な変化があったものとは考えていない。部隊が各種事態に効果的に対応し得るよう基地の警備に万全を期すことは、米軍・自衛隊問わず、当然のことと考えている。

いずれにしても、万が一の事態においては、防衛省・自衛隊として、その状況に応じ、警察及び消防等の関係機関と協力しつつ、迅速かつ適切に避難住民の誘導や人命救助に係る国民保護措置を実施することにより、住民の方々の安全を確保できるよう万全を期してまいりたい。

また、当局としては、景観・環境・文化への配慮に係る地元のご要望を米側に伝え、地域住民の方々の安全・安心の確保に向けて、米側から新しく得られた情報については、速やかに情報提供できるよう努めてまいりたい。

(近畿中部防衛局)

以上

第18回米軍経ヶ岬通信所の設置に係る 安全・安心対策連絡会説明事項

I 経ヶ岬通信所における状況等

(1) 工事等の状況

ア 商用電力の導入【資料1】

- ・ 本年9月6日、導入の第2段階として、高電圧用機器（レーダー関連機器等）への商用電力導入が完了
- ・ これをもって通信所への商用電力導入は全て完了

イ 第Ⅱ期工事【資料2】

- ・ S字カーブの交通誘導員の配置等の安全対策を引き続き実施

ウ 段差解消工事等

- ・ 本年9月末に、近畿中部防衛局による段差解消工事が完了

エ 車両入門に係る安全確保のための用地取得（三角地）

- ・ 本年11月下旬に、京丹後市による里道付替工事が完了
- ・ 平成30年度中に用地を米軍に引き渡し予定

(2) 交通事故の状況等

II 住民の安全・安心

(1) 交通安全に対する取組

ア 交通安全講習会等【資料3】

- ・ これまでの開催実績（資料3-1のとおり）
- ・ 10月12日、第15回交通安全講習会を開催（資料3-2）
- ・ 次回は12月に開催できるよう調整中

イ 集団通勤

- ・ ワンボックスカーの利用や乗車の相乗りによる集団通勤を継続して実施

(2) 交通誘導及び巡回警備【資料4】

- ・ 交通誘導及び巡回警備業務を継続して実施

Ⅲ 日米交流及び地域振興策の状況

(1) 日米交流等【資料5】

- ・ 袖志区英会話交流（9月5日、10月31日）
- ・ ハロウィンイベント（10月27日）
- ・ 袖志における台風による被害の復旧作業支援（10月1日）
- ・ 袖志海岸清掃（11月4日）
- ・ 今後も引き続き、日米交流を推進。

(2) まちづくりへの支援【資料6】

ア 生活・産業関係

- ・ 再編交付金事業
→ LED防犯灯設置費補助金事業など計16件
- ・ 障害防止事業
→ 尾和用水路事業
- ・ 民生安定助成事業（一般助成）
→ 消防ポンプ自動車

イ 交通環境整備関係

- ・ 道路改修等事業（補助金）
→ 府道浜丹後線、府道間人大宮線の改良事業 計2件
- ・ 道路改修等事業（工事費）
→ 178号線の改良事業 計1件

Ⅳ その他

(1) 経ヶ岬飛行制限区域における救急搬送の遅延事案【資料7】

- ・ 第2回関係者会議（11月14日）で再発防止策を取りまとめ

(2) 近畿中部防衛局広報誌について

- ・ 「経ヶ岬通信所だより」の第3号を年内に発行予定

第18回 米軍経ヶ岬通信所の設置に係る
安全・安心対策連絡会説明資料

平成30年11月
近畿中部防衛局

商用電力の導入状況について

- 本年9月6日、導入の第2段階として、高電圧用機器(レーダー関連機器等)への商用電力導入が完了
- これをもって通信所への商用電力導入は全て完了



関西電力電柱(左)から受電する通信所内の電柱(右)



商用電力導入のための機器の設置

米軍経ヶ岬通信所 計画図

【資料2-1】



※1 現時点での計画です。

※2 [] は、米側が予算を確保した後、施設整備を実施する可能性のある場所を例示したものです。

宇川小学校付近のS字カーブにおける交通誘導警備員の配置



交通安全講習会

○ これまでの開催実績

- ・ 平成26年10月 2日 第1回交通安全講習会
- ・ 平成27年 1月16日 第2回交通安全講習会
- ・ 5月13日 第3回交通安全講習会
- ・ 8月27日 第4回交通安全講習会
- ・ 12月 9日 第5回交通安全講習会
- ・ 12月14日、15日、22日 交通安全講習会（講義）
- ・ 平成28年 1月27日 第6回交通安全講習会
- ・ 4月 7日 第7回交通安全講習会
- ・ 7月22日 第8回交通安全講習会
- ・ 10月21日 第9回交通安全講習会
- ・ 12月13日 第10回交通安全講習会
- ・ 平成29年 4月13日 第11回交通安全講習会
- ・ 7月24日 第12回交通安全講習会
- ・ 12月 5日、13日 第13回交通安全講習会
- ・ 平成30年 4月23日 第14回交通安全講習会
- ・ 7月23日 交通安全講習会（講義）
- ・ 10月12日 第15回交通安全講習会

○ 次回講習会は、12月に開催できるよう調整中

第15回交通安全講習会を開催

近畿中部防衛局と京丹後警察署は、平成30年10月12日（金）、京丹後市峰山町の京都峰山自動車学校に御協力いただき、米軍経ヶ岬通信所に勤務する米軍関係者を対象とした交通安全講習会を開催しました。

今回の講習会では、米軍関係者が日本の交通ルールや車両構造に即した運転技量を習得することができるように、教習所内のコースを使用した実車講習を行いました。



教習内容の説明を受ける参加者



教習所内のコースを使用した講習



車両操作の説明を受ける参加者



バックによる車庫入れの練習



車両感覚を習得するための練習



教習成績優秀者の表彰

○ 宇川小学校前での児童の交通誘導



○ 周辺地域の巡回

巡回ルート：
警備員詰所(旧宇川中学校)→通信所→網野町→峰山町→網野町→警備員詰所



地域との交流

○ 英会話交流（平成30年9月5日、10月31日）



○ ハロウィンイベント（平成30年10月27日）



○ 台風による被害の復旧作業支援（平成30年10月1日）



○ 袖志海岸清掃（平成30年11月4日）

※袖志区において半年に1回実施されている海岸清掃に、防衛局の職員や空自経ヶ岬分屯基地の隊員、米軍経ヶ岬通信所に勤務する軍人・軍属の有志がボランティア活動として参加しているもの



平成30年度経ヶ岬関連実施予定事業一覧表(平成30年11月現在)

	事業の名称	補助事業者名		
再編交付金	(平成29年度繰越分) 袖志地区水路整備事業	京丹後市長		
	(平成30年度単歳分) LED防犯灯設置費補助金事業			
	LED防犯灯設置事業			
	防犯カメラ設置事業			
	有線放送設備整備事業費補助金			
	高齢者インフルエンザ予防接種事業			
	袖志地区農道改修事業			
	袖志地区有害鳥獣防除施設整備事業			
	袖志漁港中央防波堤改良事業			
	市道長延線改良事業			
	市道松陰寺線改良事業			
	尾和区内道路改良事業			
	中川改良事業			
	小・中学校情報教育環境整備事業			
	袖志地区コミュニティ倉庫整備事業補助金			
袖志漁港漁船保全施設等改修事業補助金				
袖志区コミュニティ広場整備事業				
	16件(平成29年度から繰越分 1件)			
障害防止	(平成30年度) 尾和用水路改修事業	京丹後市長		
			1件	
民生安定	(平成30年度単歳分) 消防ポンプ自動車	京丹後市長		
			1件	
道路改修等	(平成30年度単歳分) (平成30年度国債分) 浜丹後線(上野平バイパス、宮バイパス) 浜丹後線(上野平バイパス)	京都府知事		
	間人大宮線 間人大宮線			
	(平成29年度繰越分) (平成29年度国債分) 浜丹後線(その1)(その2) 間人大宮線			
	間人大宮線			
			2件(平成29年度から繰越分 2件)	
工事費 (原因者負担金)	(平成30年度単歳分) 178号線(袖志工区、カマヤ工区)	京都府知事		
	(平成29年度繰越分) 178号線(袖志工区、カマヤ工区)			
			1件(平成29年度から繰越分 1件)	
計			21件(平成29年度から繰越分 4件)	

(再編交付金事業の主な実績)

【資料6-2】



区民交流広場整備助成事業
(丹後町袖志)



親子ふれあい広場整備助成事業
(丹後町袖志)

(再編交付金事業の主な実績)



竹野体育館改修
(丹後町竹野)



中浜消防車庫整備事業
(丹後町中浜)

(再編交付金事業の主な実績)

尾和・袖志地区農道及び水路整備事業



農道九枚割線



袖志水路



(障害防止事業及び道路改修事業の主な実績)

【障害防止事業】



尾和用水路改修事業

【道路改修事業(工事費)】



482号線(大山工区)

(民生安定助成事業の主な事業等)

【民生安定事業(平成30年度事業)】

消防施設(消防ポンプ自動車)

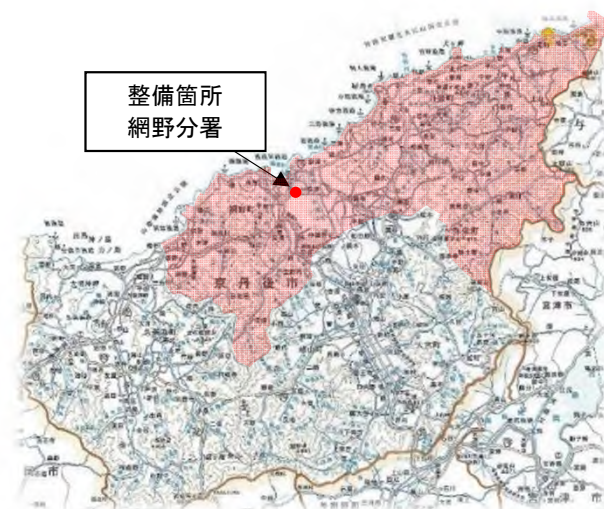
現状



更新イメージ



位置図



経ヶ岬飛行制限区域における救急搬送の遅延事案(平成30年5月15日)について

事案の概要

- 平成30年5月15日、ドクターヘリによる救急搬送のため、宮津与謝消防組合消防本部が米軍経ヶ岬通信所に対し、飛行制限区域への入域調整(停波要請)を行ったが、意思疎通が円滑に行われず、その結果、ドクターヘリが当初予定の場外離着陸場を変更せざるを得なくなり、傷病者との接触が遅延した。なお、傷病者の症状に幸い別状はなかった。

事実関係の検証

- 本年7月2日、米軍及び関係機関が参集した第1回経ヶ岬飛行制限区域への入域調整に係る会議において、事実関係を検証。
- その結果、宮津与謝消防組合消防本部及び米軍が、ともにマニュアルに沿った要請及び対応ができていなかったため、意思疎通が円滑に行われず、宮津与謝消防本部は、米軍が停波を一度了解したものと誤解し、一方で米軍は、要請を正しく認識するまでに時間を要したことから、手続がドクターヘリの到着に間に合わなかったことを確認。



再発防止策の取りまとめ

- 本年11月14日、米軍及び関係機関が参集した第2回経ヶ岬飛行制限区域への入域調整に係る会議において、第1回会議の内容やその後の定期訓練の実施結果等を踏まえた再発防止策を取りまとめ。

<再発防止策>

- ① 米軍及び関係機関の担当者の訓練機会を増やすため、定期訓練の実施回数を増加 (現行月2回→基本的に毎週実施へ)
- ② 米軍及び関係機関の担当者を一堂に集めて定期的な研修を実施
- ③ 平素から関係機関で情報共有、意見交換を行うため、年2回程度の関係者会議を開催
- ④ 定期訓練等の結果を踏まえ、より円滑な意思疎通が可能となるようにマニュアルを改良
- ⑤ 飛行制限区域の影響を受けない場所へのヘリポート整備に向けて必要な予算の確保に努力